

令和2年度
鹿児島地方最低賃金審議会
鹿児島県最低賃金専門部会

第 2 回

日時 : 令和2年8月5日(水)

10:00~

場所 : 鹿児島合同庁舎 第2会議室

鹿児島労働局

— 議 題 —

I 部会長及び部会長代理の選出

II 議題

- 1 鹿児島県最低賃金の改正審議について
- 2 その他

— 資 料 —

資料番号	資 料 項 目
1	新型コロナに関する解雇見込み労働者数について
2	令和2年度地域別最低賃金の審議・決定状況
3	

コロナに負けるな！

ハローワーク「特別労働相談窓口」まずは、相談！

新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動縮小・廃止から解雇・雇い止めなどにより離職した方々を支援するために、当該離職者の雇い入れを希望する事業主に積極的に紹介します。

また、住居・生活等に関する相談も、専門相談アドバイザーが対応し、就職、住居・生活まで、自治体の担当者とも連携しつづ一体的に支援を行います。

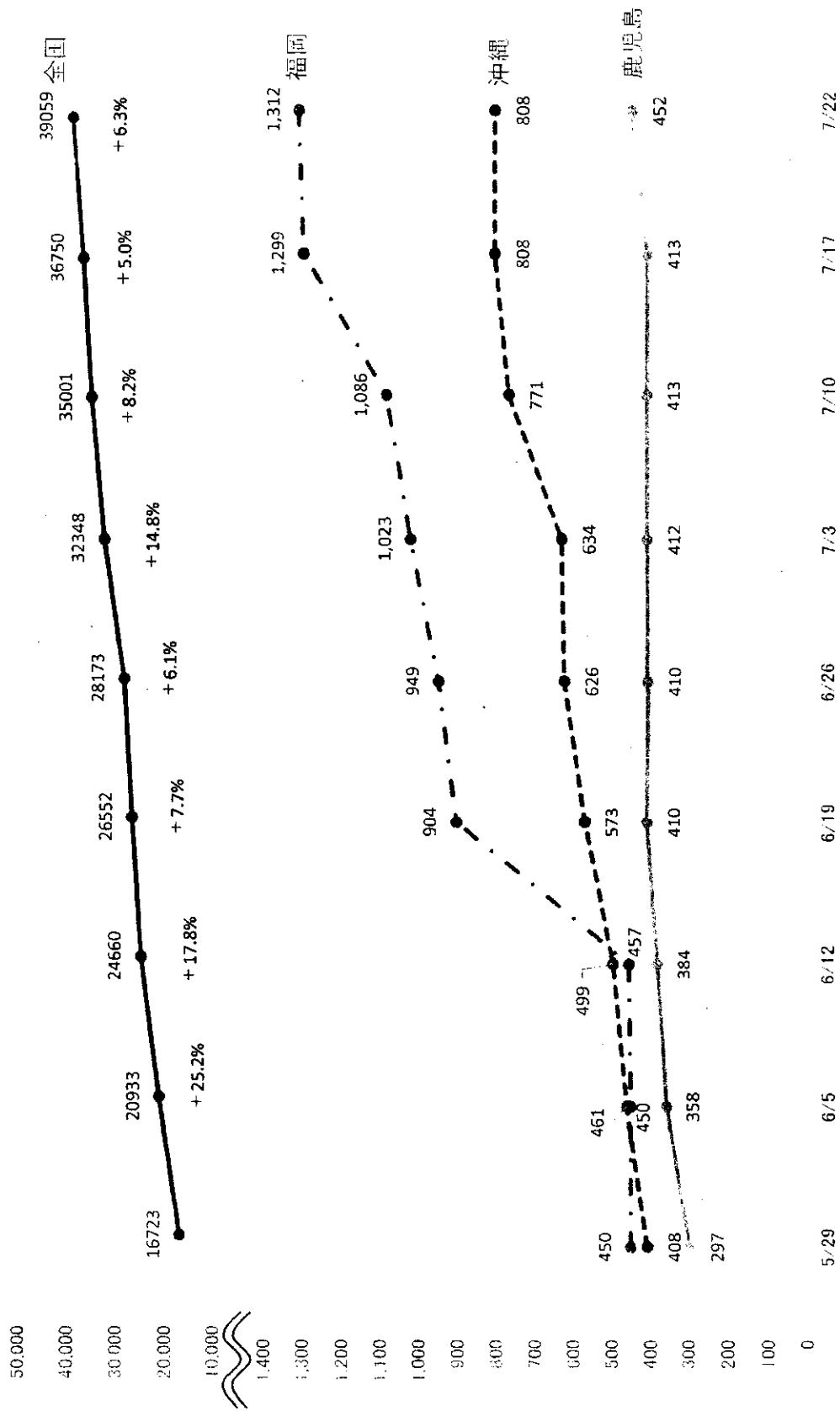
《参考》

7月22日現在、解雇等見込み者数 452人
(全国 39,059人 7月22日現在)

宿泊業 153人、製造業 82人、飲食業 58人、小売業 42人、
道路旅客運送業 22人、娯楽業 19人、医療業 14人、清掃業 13人、
サービス業 8人、建設業 8人、農業 8人、その他25人

【備考】5/25~7/22
212人(うち非正規 124人)

新型コロナウイルスに関する解雇見込み労働者数推移



厚生労働省HP：「新型コロナウイルス感染症に起因する雇用への影響に関する情報」より

令和2年度地域別最低賃金の審議・決定状況

目安 ランク	都道府県名	前年度 決定状況	改定 最低賃金額	引上げ額	目安	目安比較	結審年月日	効力発生 予定年月日
A	東京	1,013			—			
	神奈川	1,011						
	大阪	964						
	愛知	926						
	埼玉	926						
	千葉	923						
B	京都	909			—			
	兵庫	899						
	静岡	885	885	—		±0	8月4日	—
	滋賀	866						
	茨城	849						
	栃木	853						
	広島	871						
	長野	848						
	富山	848						
	三重	873						
	山梨	837						
C	群馬	835			—			
	岡山	833						
	石川	832						
	香川	818						
	奈良	837						
	宮城	824	825	1		+1	8月3日	10月1日
	福岡	841	842	1		+1	8月3日	10月1日
	山口	829						
	岐阜	851	852	1		+1	8月4日	10月1日
	福井	803						
	和歌山	830						
	北海道	861						
	新潟	830						
	徳島	793						
D	福島	798			—			
	大分	790						
	山形	790						
	愛媛	764						
	島根	790	792	2		+2	8月3日	10月1日
	鳥取	790						
	熊本	790						
	長崎	790						
	高知	790						
	岩手	790						
	鹿児島	790						
	佐賀	790						
	青森	790						
	秋田	790						
	宮崎	790						
	沖縄	790						
全国加重平均額		901		-	-	-	-	-



經濟情勢報告

〈鹿兒島県〉

令和2年8月

財務省九州財務局
鹿兒島財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いている」

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされた状況にある	一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いている	→

（注）2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新車販売や旅行取扱高、観光面などを中心に落ち込みがみられたが、緊急事態宣言解除後は、営業再開の動きがみられ一部に客足が戻りつつあることなどから、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。生産活動は、一部に持ち直しの動きがみられていたが、感染症の影響により、一進一退の状況にある。雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、足下で弱含んでいる	一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	→
生産活動	一進一退の状況にあるなかで、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある	→
雇用情勢	改善していたが、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	↘
設備投資	元年度は増加見込み	2年度は増加見込み	→
企業収益	元年度は減益見込み	2年度は減益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅が拡大している	「下降」超幅が拡大している	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	→
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	→
倒産	倒産件数は前年を上回っているものの、負債金額は前年を下回っている	倒産件数、負債金額ともに前年を上回っている	↘

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待されるが、感染症が県内経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

個人消費は、百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に外出自粛の影響があったことに加え、それに伴う臨時休業もみられたことなどから、前年を下回っている。家電大型専門店販売、ドラッグストア販売、ホームセンター販売は、前年を上回っている。新車販売は、普通車・小型車、軽自動車ともに前年を下回っている。旅行取扱高は、国内旅行、海外旅行ともに前年を下回っている。主要観光地の宿泊客数および主要観光施設の入場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業が多くみられたことなどから、前年を下回っている。

なお、緊急事態宣言解除後は、営業再開の動きがみられ一部に客足が戻りつつあるなど下げ止まりの兆しがみられる。

(主なヒアリング結果)

- 大規模なイベントを中止にしたほか、長期間の臨時休業が発生するなど、感染症の影響は想定を上回るものとなった。（百貨店・スーパー）
- 感染症の影響で外出自粛やテレワークの実施等の動きがあったことにより、巣ごもり需要としてのエアコンやパソコン等の売れ行きが好調であった。（家電大型専門店）
- 感染症の影響により、巣ごもり需要としての園芸など趣味の商品やDIY 用具・素材等の売れ行きが好調であった。（ホームセンター）
- 国内工場の稼働停止による生産停止の影響があったものの、売上減少の底は脱したものと思われる。（自動車販売店）
- 感染症の影響による国内のスポーツイベント中止や国際線の運休などにより、キャンセルが相次いでみられた。（旅行代理店）
- 感染症の影響により、宿泊予約のキャンセルが相次いでみられた。（宿泊施設）

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある」

生産活動は、主な業種をみると、「電子部品・デバイス」は、スマートフォン向け電子部品に回復の動きがみられることなどから、緩やかに持ち直していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により一進一退の状況にある。「食料品」は、一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、焼酎、食肉などで弱含んでいる。「窯業・土石」は、海外需要の減少等により半導体関連向けファインセラミックスが低調となっていることなどから、弱含んでいる。

- スマートフォン向け電子部品の生産については回復の兆しがみられていたが、感染症の影響拡大に伴う取引先の稼働低下により納期の延伸等が継続している。（電子部品・デバイス）
- 飲食店営業の再開などもありさらなる出荷減とはなっていないものの、再開後需要がすぐに戻ったわけではないことから出荷数については再開前と同程度の減少が続いている。（食料品）
- 豚肉については巣ごもり需要により出荷数を維持しているが、外食産業向けが中心の牛肉は、営業が再開してもすぐに需要が戻るわけではないため、自粛中と同程度の出荷減少が継続している。（食料品）
- 半導体関連向けファインセラミックスは、引き続き出荷先の在庫調整等により不調となっている。（窯業・土石）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

雇用情勢は、有効求人倍率は1倍台を維持しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊業・飲食サービス業を中心に新規求人数の減少が続いている。

- 2年5月の有効求人倍率（季節調整値）は1.11倍であり、49ヶ月連続の1倍台を維持したものの、感染症の影響により、求人を含める傾向が続いている。（労働局）
- 重症化リスクの高い方々が入所する医療・福祉の業種において、人手不足状態は継続しているものの、クラスター発生を懸念して採用活動を控える動きもみられている。（労働局）
- 近年は人手不足の傾向が続いていたが、感染症の影響により、今年度の新規採用活動は見送ることとした。（窯業・土石）

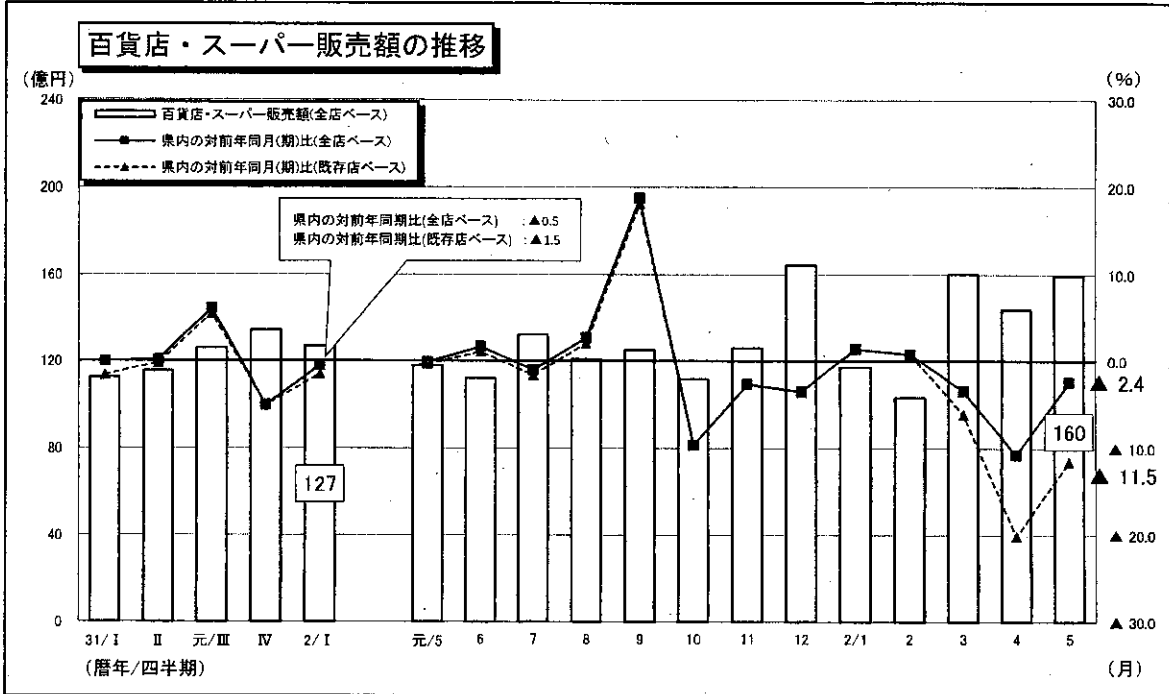
- **設備投資** 「2年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期
 - 製造業では「情報通信機械」や「食料品」等を中心に増加見込みとなっている。
 - 非製造業では「金融、保険」や「建設」等を中心に減少見込みとなっている。
- **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期
 - 製造業では「情報通信機械」や「食料品」等を中心に増益見込みとなっている。
 - 非製造業では「宿泊、飲食サービス」や「卸売」等を中心に減益見込みとなっている。
- **企業の景況感** 「『下降』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4-6月期
 - 企業の景況判断BSIは、前期(2年1-3月期)に比べ、全産業では「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは、翌期(2年7-9月期)は「下降」超幅が縮小し、翌々期(2年10-12月期)は「上昇」超に転じる見通しとなっている。
- **住宅建設** 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数で見ると、前年を下回っている。
- **公共事業** 「前年度を上回っている」
 - 公共工事前払金保証統計の請負金額(2年度累計)で見ると、前年度を上回っている。
- **倒産** 「倒産件数、負債金額ともに前年を上回っている」
- **農業(畜産物)**
 - 和牛は、と畜頭数、枝肉卸売価格ともに前年を下回っている。
 - 豚は、と畜頭数、枝肉卸売価格ともに前年を上回っている。
 - ブロイラーは、処理羽数は前年並みとなっており、卸売価格は前年をやや下回っている。
- **消費者物価**
 - 鹿児島市の「消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)」は、「食料(生鮮食品を除く)」や「住居」などで前年を上回っているものの、「諸雑費」、「教育」などで前年を下回っていることから、前年並みとなっている。

【 参 考 資 料 】

	頁
1. 個 人 消 費	参一1
2. 生 産 活 動	参一4
3. 雇 用 情 勢	参一6
4. 設 備 投 資	参一7
5. 企 業 収 益	参一8
6. 企 業 の 景 況 感	参一9
7. 住 宅 建 設	参一10
8. 公 共 事 業	参一11
9. 倒 産	参一12
10. 農 業 (畜 産 物)	参一13
11. 消 費 者 物 価	参一14

1. 個人消費

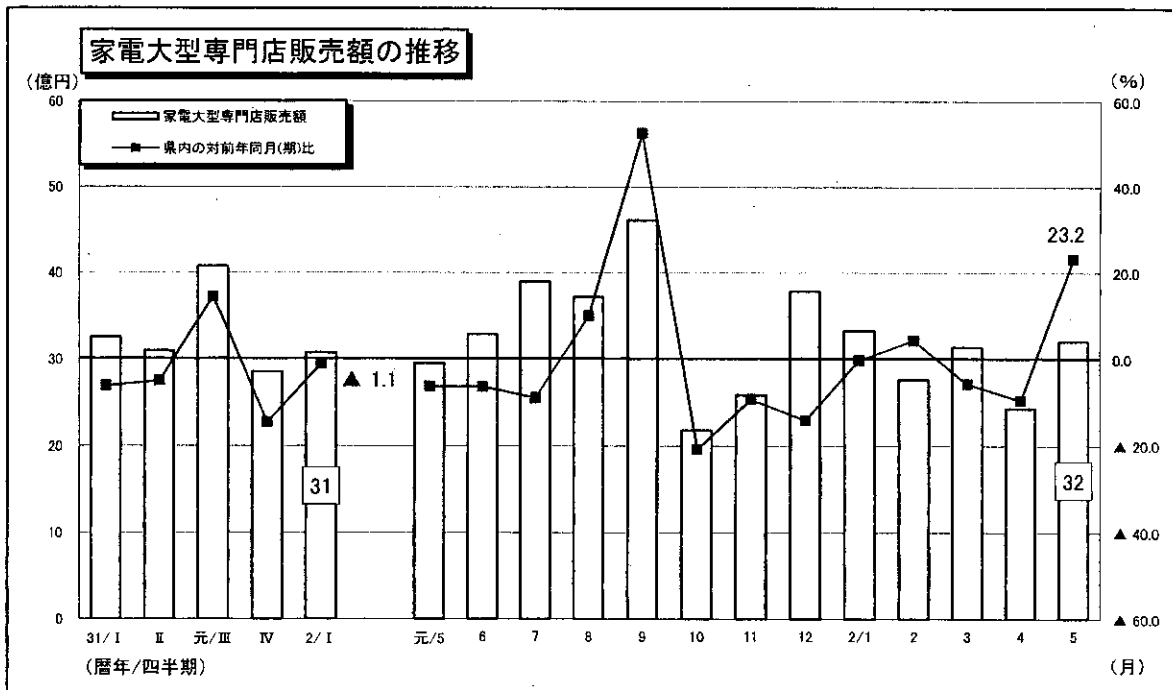
資料1



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

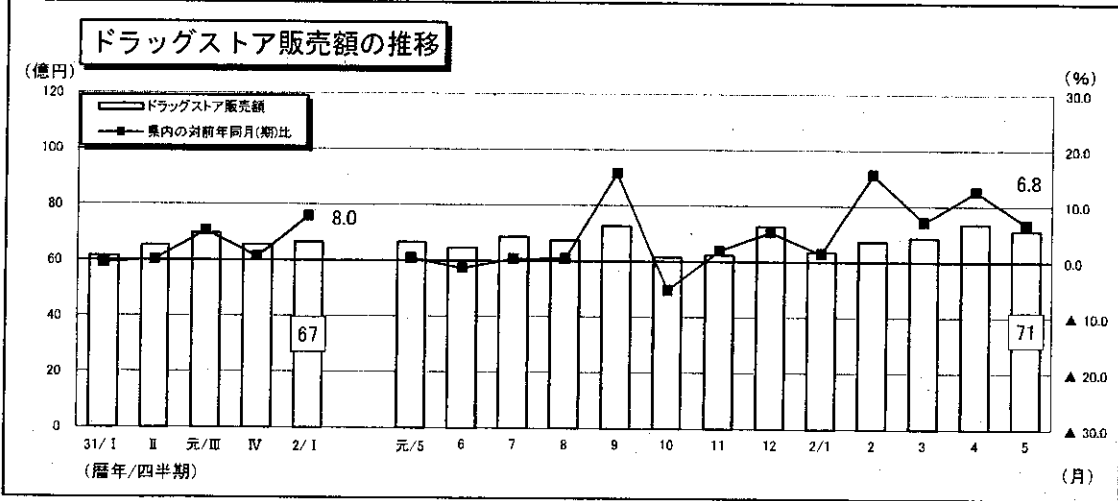
資料2



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

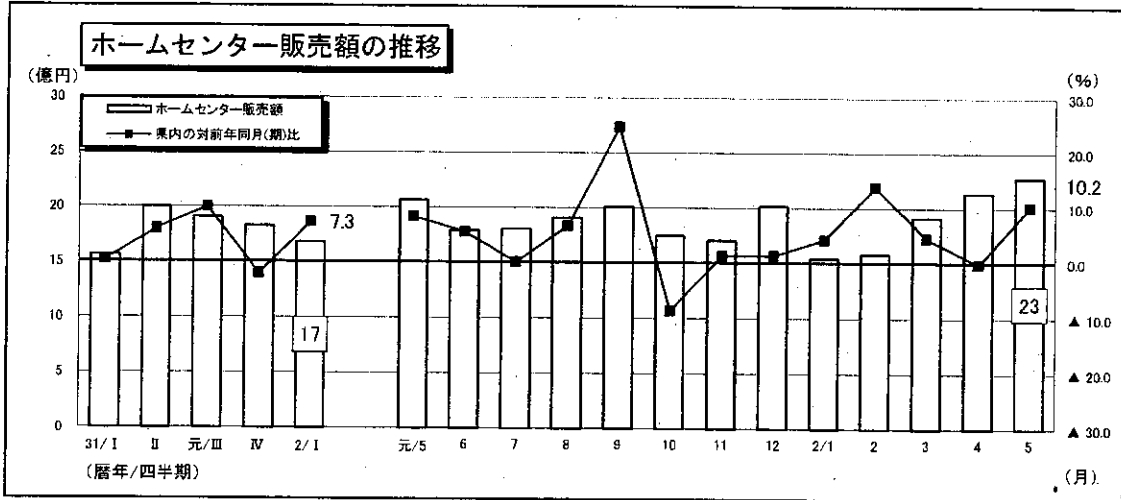
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

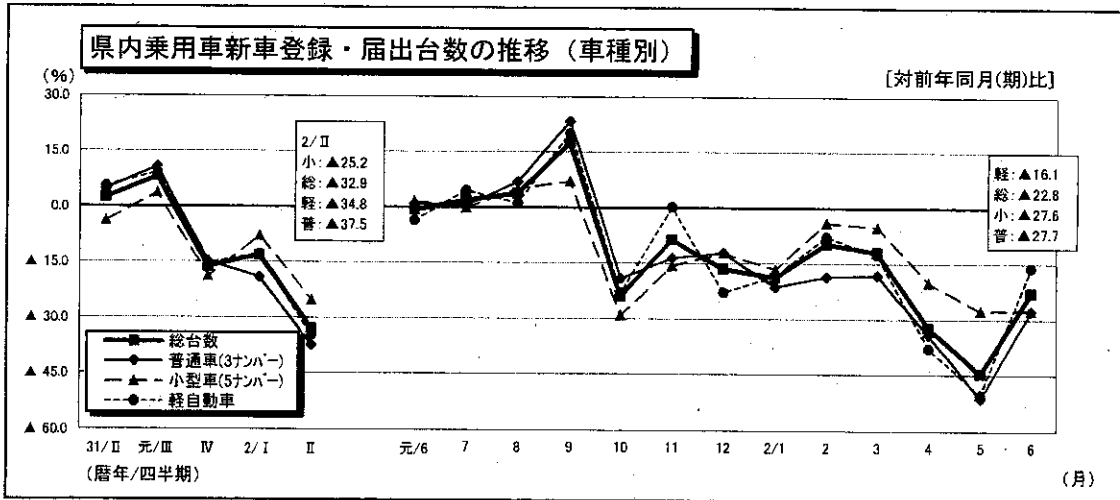
資料4



注：四半期の棒グラフは月平均。

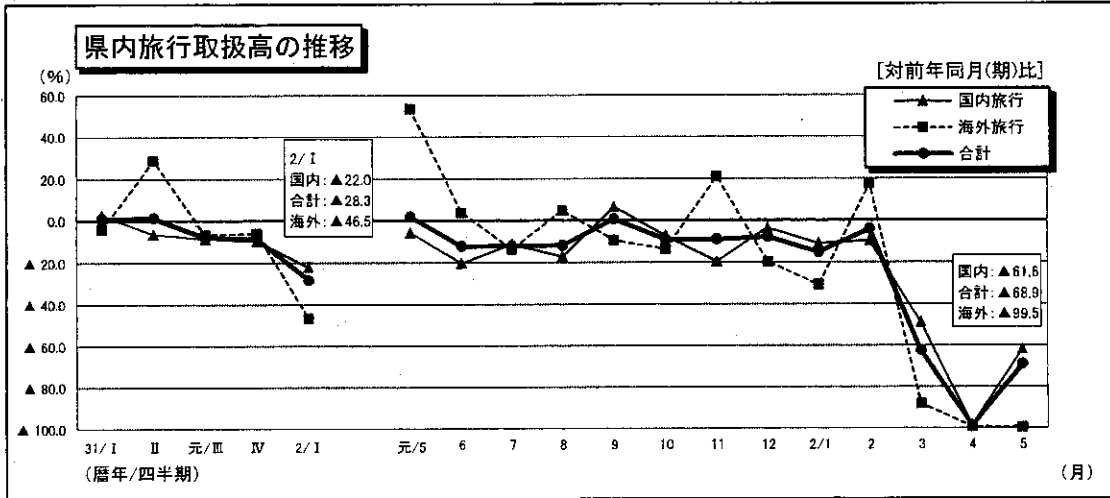
(資料：経済産業省)

資料5



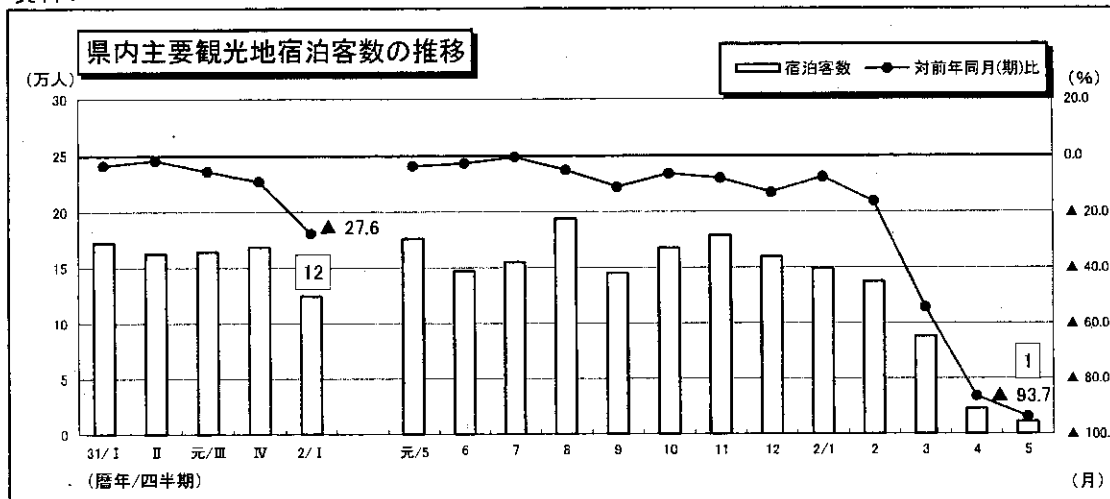
(資料：国土交通省、全国軽自動車協会連合会)

資料 6



(資料：県内主要旅行取扱店)

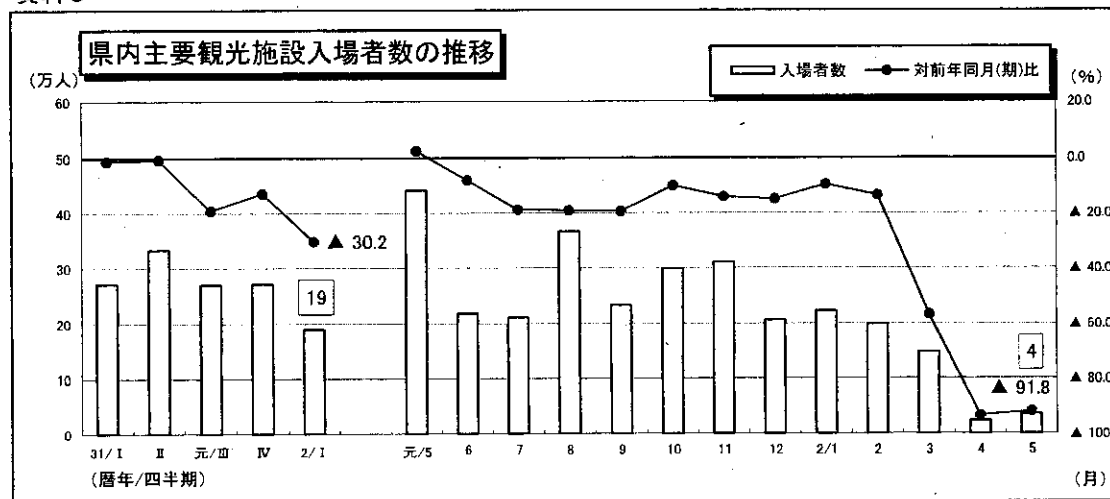
資料 7



注：四半期の棒グラフは月平均。離島を除く。

(資料：九州経済研究所)

資料 8

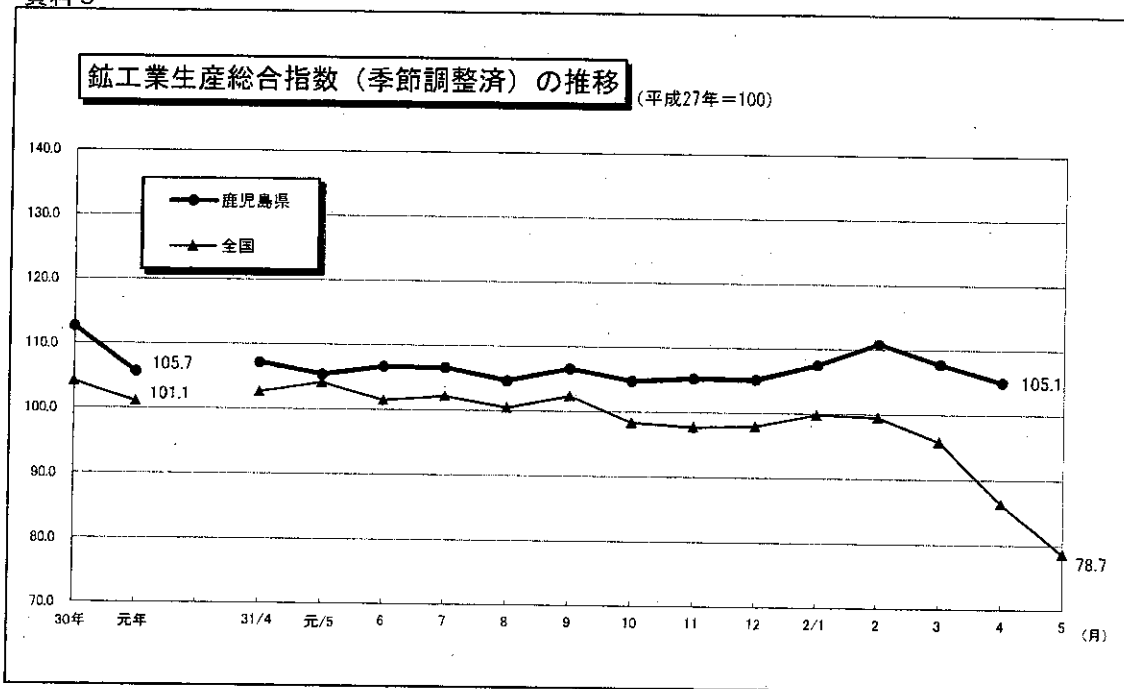


注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：県内主要16観光施設)

2. 生産活動

資料9

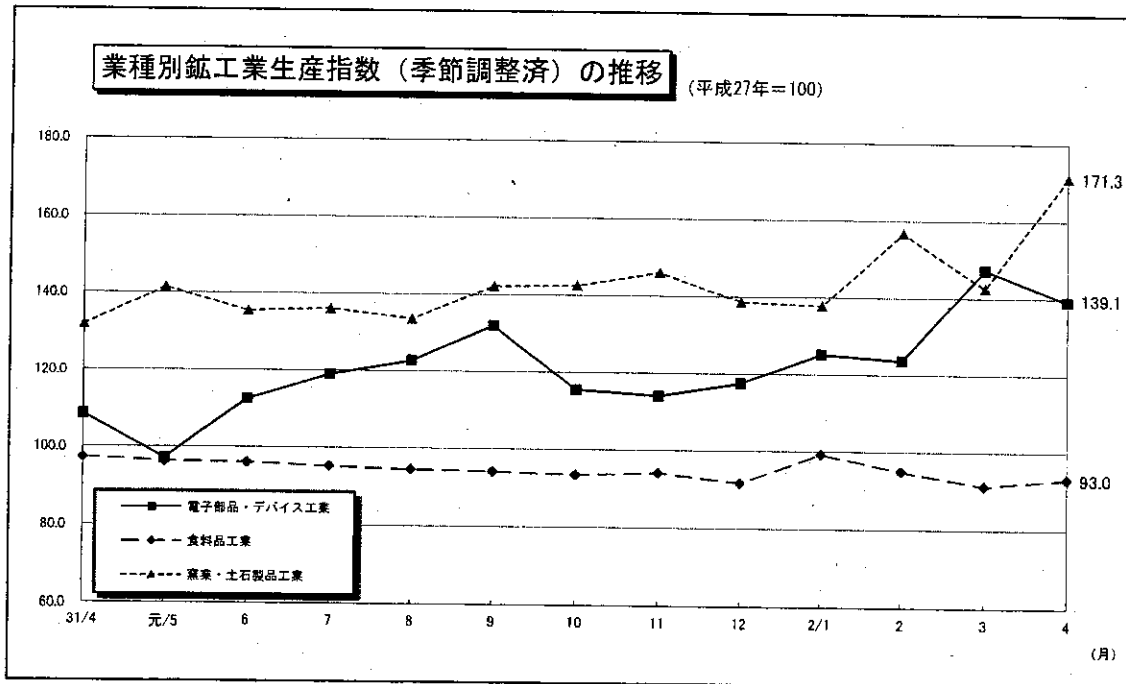


注1：年次の指数は原指数。

注2：鹿児島県の2年4月は速報値。

(資料：経済産業省、鹿児島県)

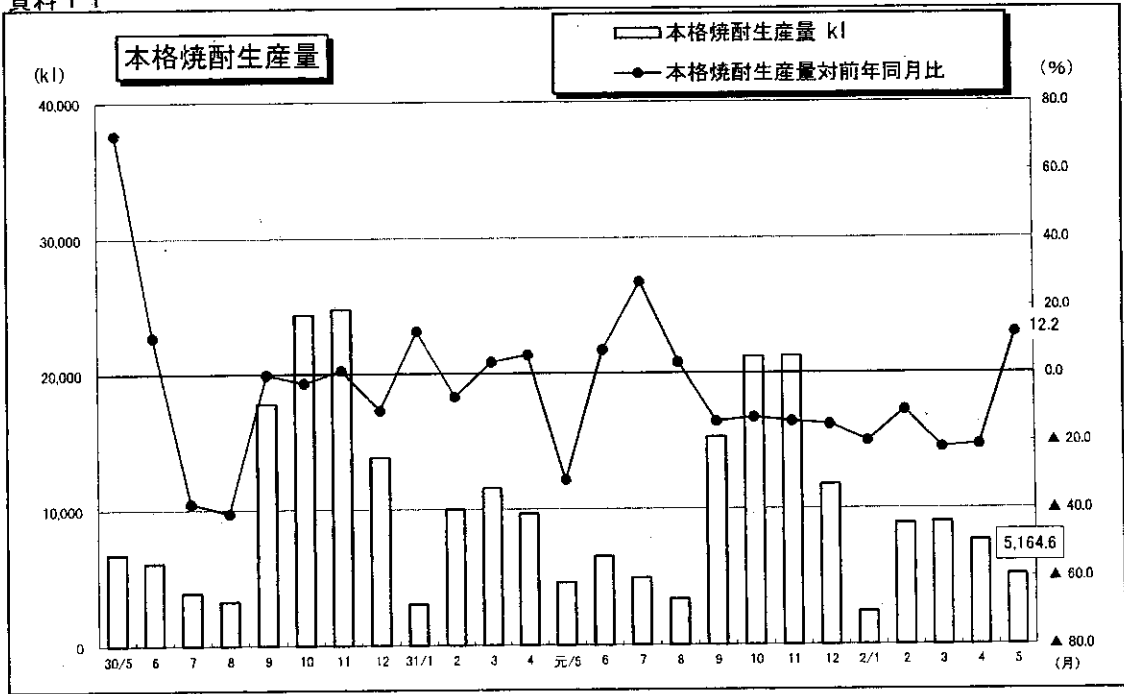
資料10



注：2年4月は速報値。

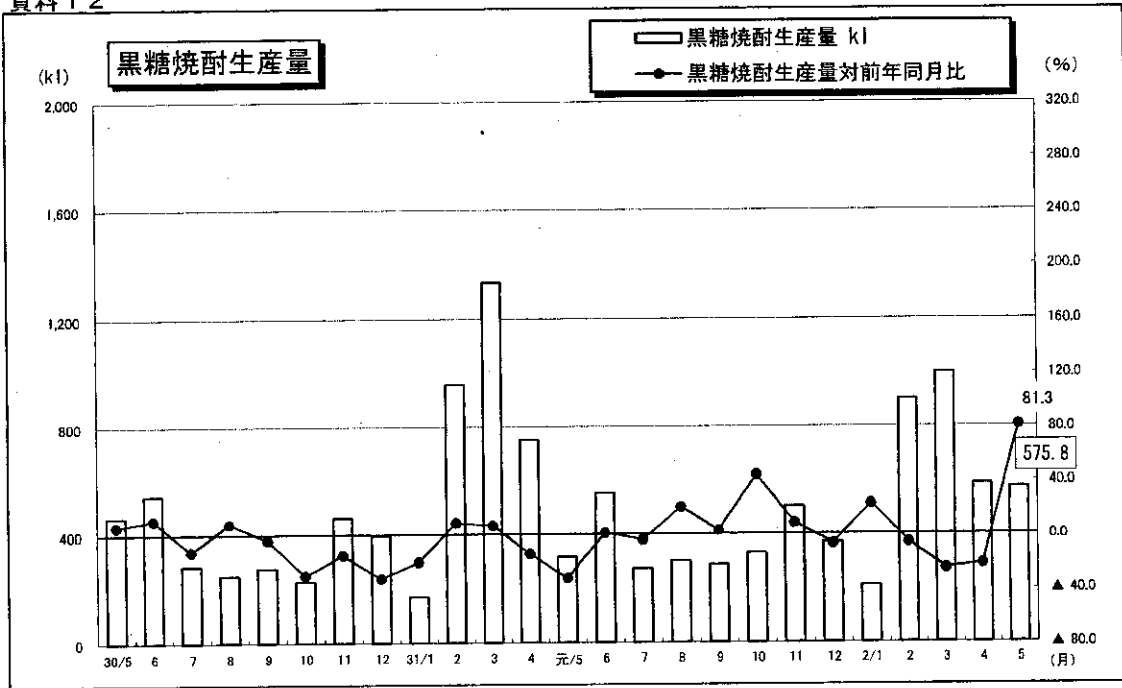
(資料：鹿児島県)

資料 1 1



(資料：鹿児島県酒造組合)

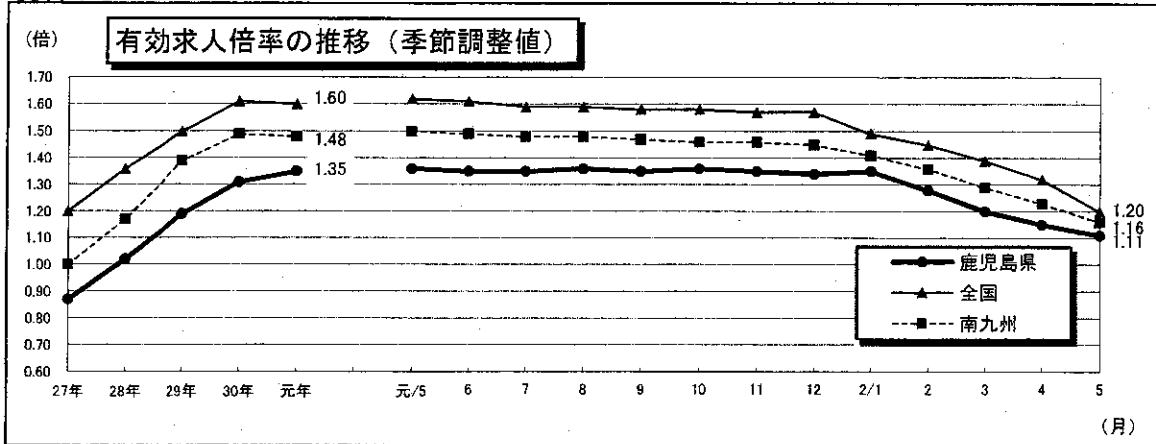
資料 1 2



(資料：鹿児島県酒造組合)

3. 雇用情勢

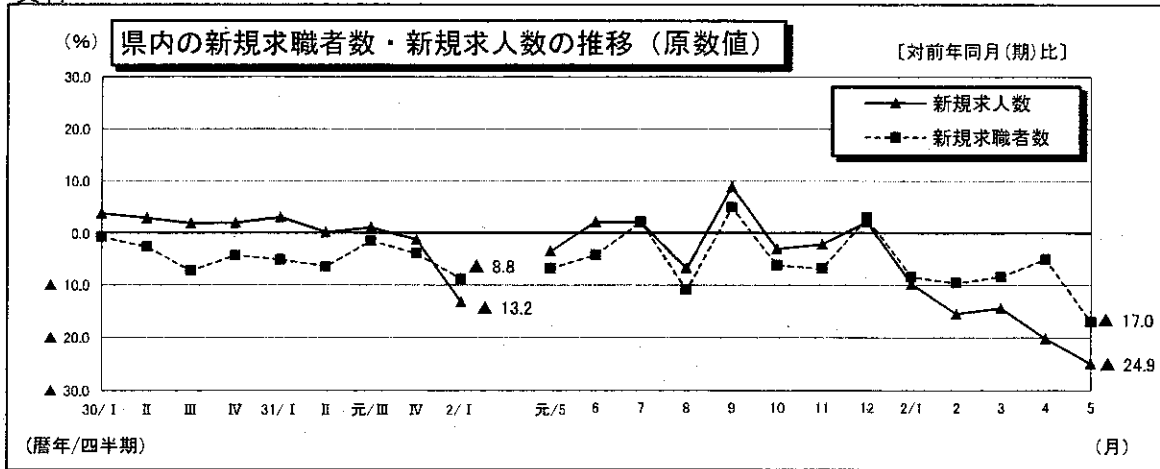
資料 1 3



注：年次の指数は原数値。パートを含む。

(資料：厚生労働省)

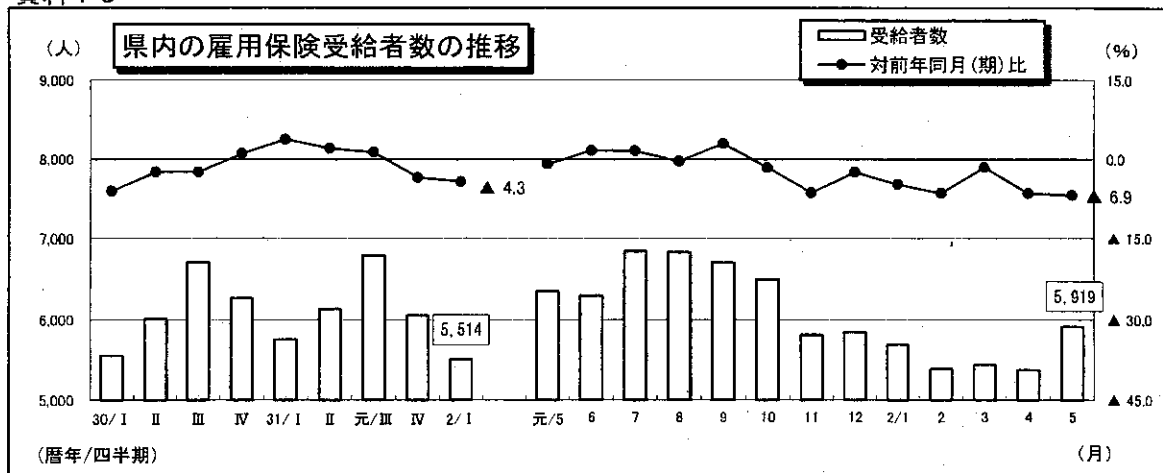
資料 1 4



注：パートを含む。

(資料：厚生労働省)

資料 1 5

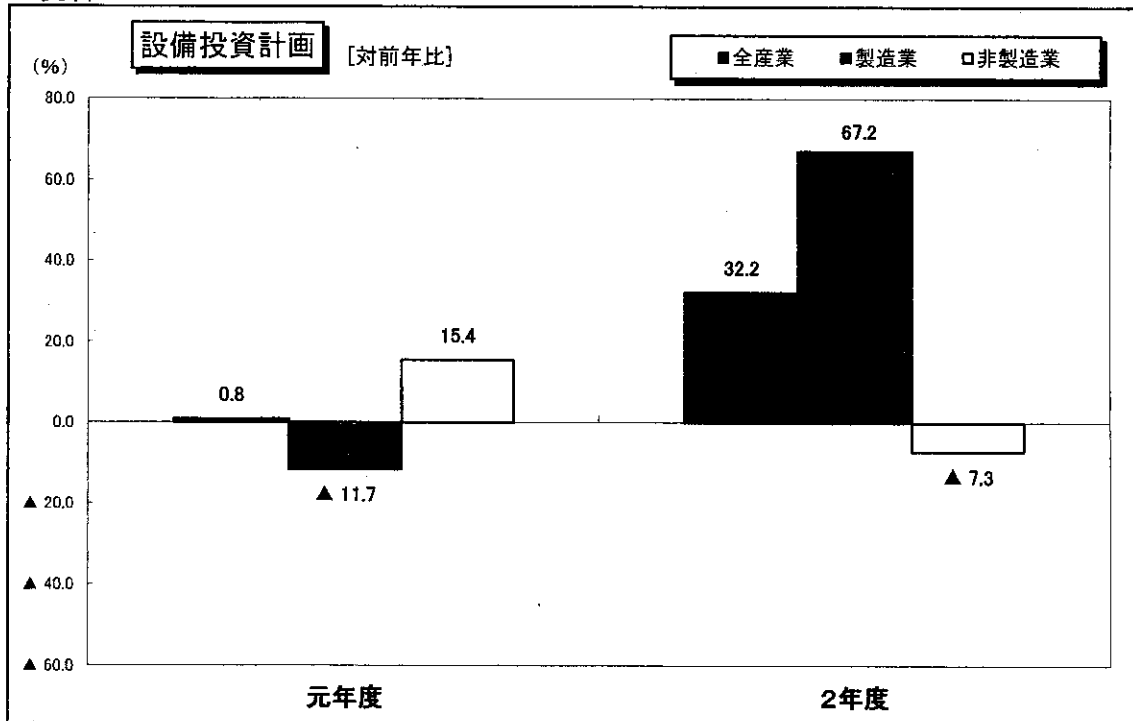


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

(資料：厚生労働省)

4. 設備投資

資料 1 6



設備投資[対前年比]

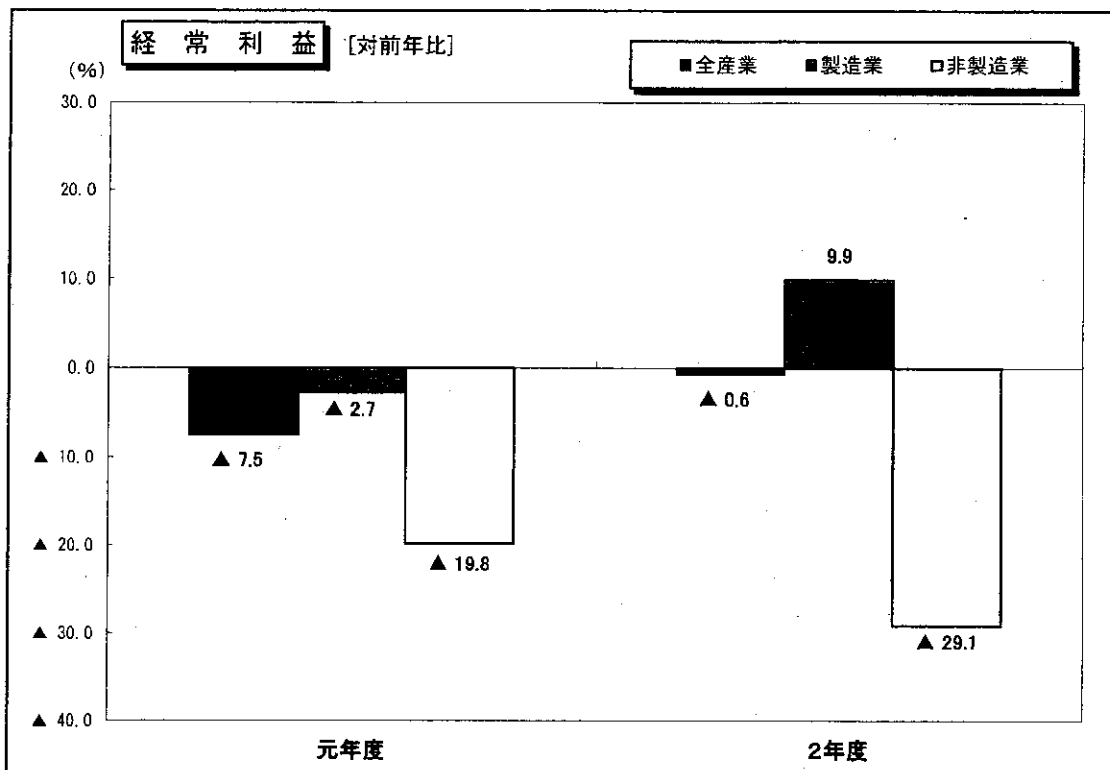
(単位：社、%)

	回答 企業数	元年度	回答 企業数	2年度
全産業	86	0.8	77	32.2
製造業	25	▲ 11.7	18	67.2
非製造業	61	15.4	59	▲ 7.3
大企業	18	7.6	18	40.3
中堅企業	23	▲ 26.0	19	53.5
中小企業	45	61.7	40	64.8

(資料：法人企業景気予測調査【2年4-6月期調査】)

5. 企業収益

資料 17



経常利益[対前年比]

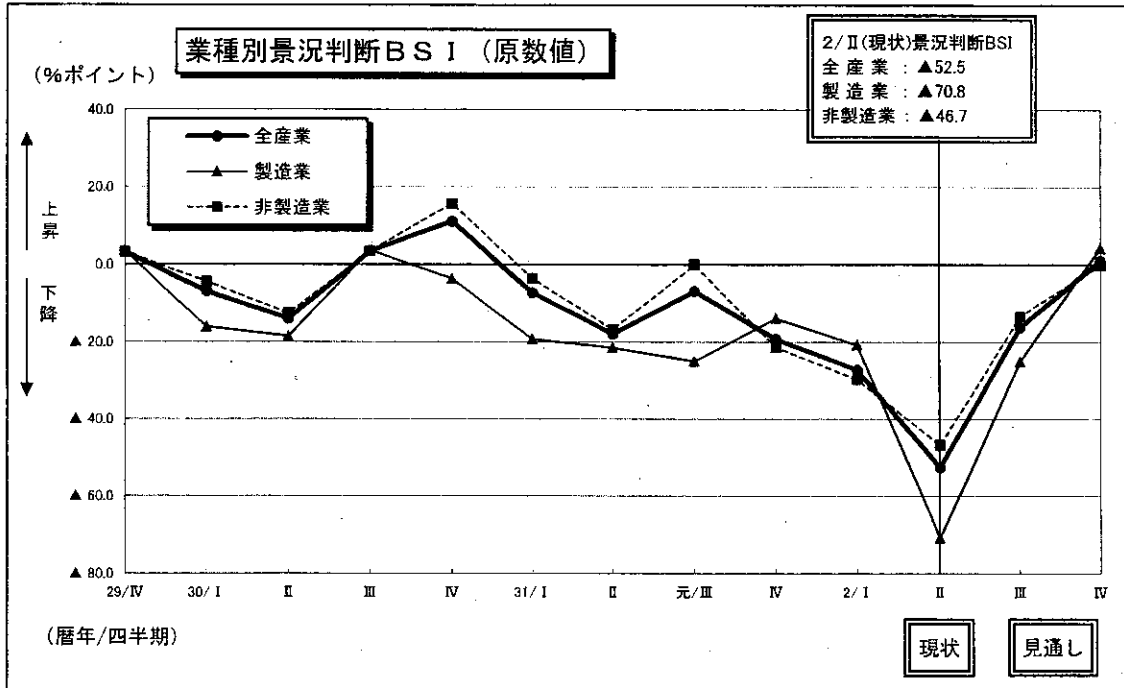
(単位：社、%)

	回答 企業数	元年度	回答 企業数	2年度
全産業	75	▲ 7.5	68	▲ 0.6
製造業	23	▲ 2.7	19	9.9
非製造業	52	▲ 19.8	49	▲ 29.1
大企業	10	▲ 3.3	11	3.6
中堅企業	20	▲ 20.7	16	26.2
中小企業	45	▲ 22.7	41	▲ 72.9

(資料：法人企業景気予測調査【2年4-6月期調査】)

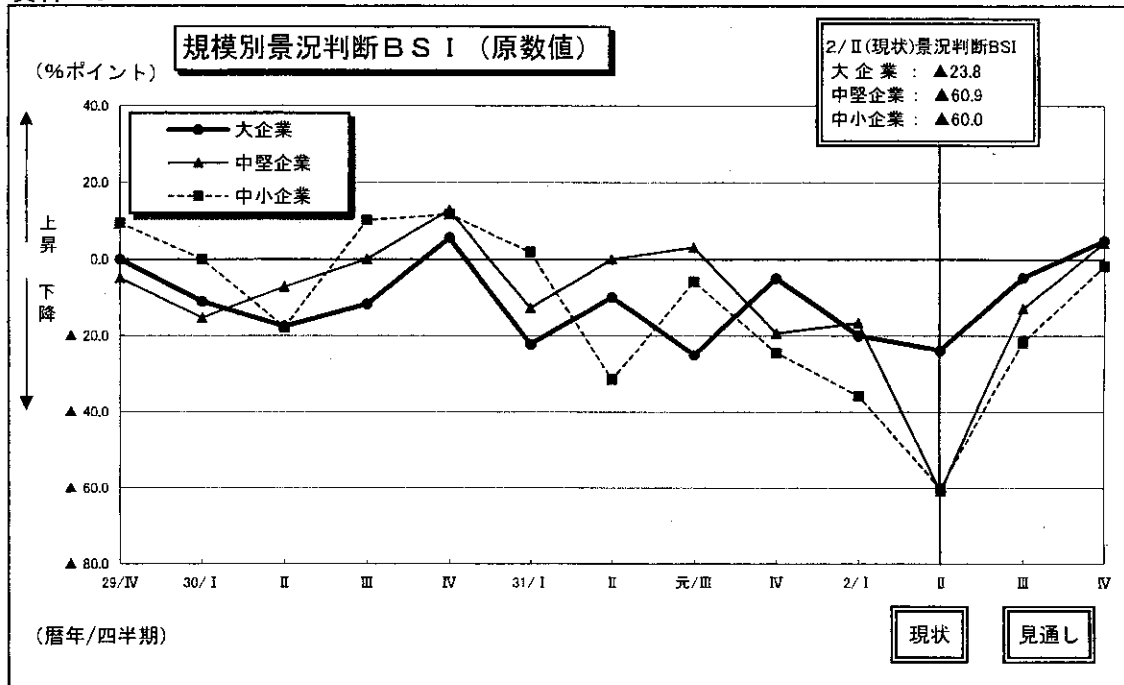
6. 企業の景況感

資料 18



(資料：法人企業景気予測調査【2年4-6月期調査】)

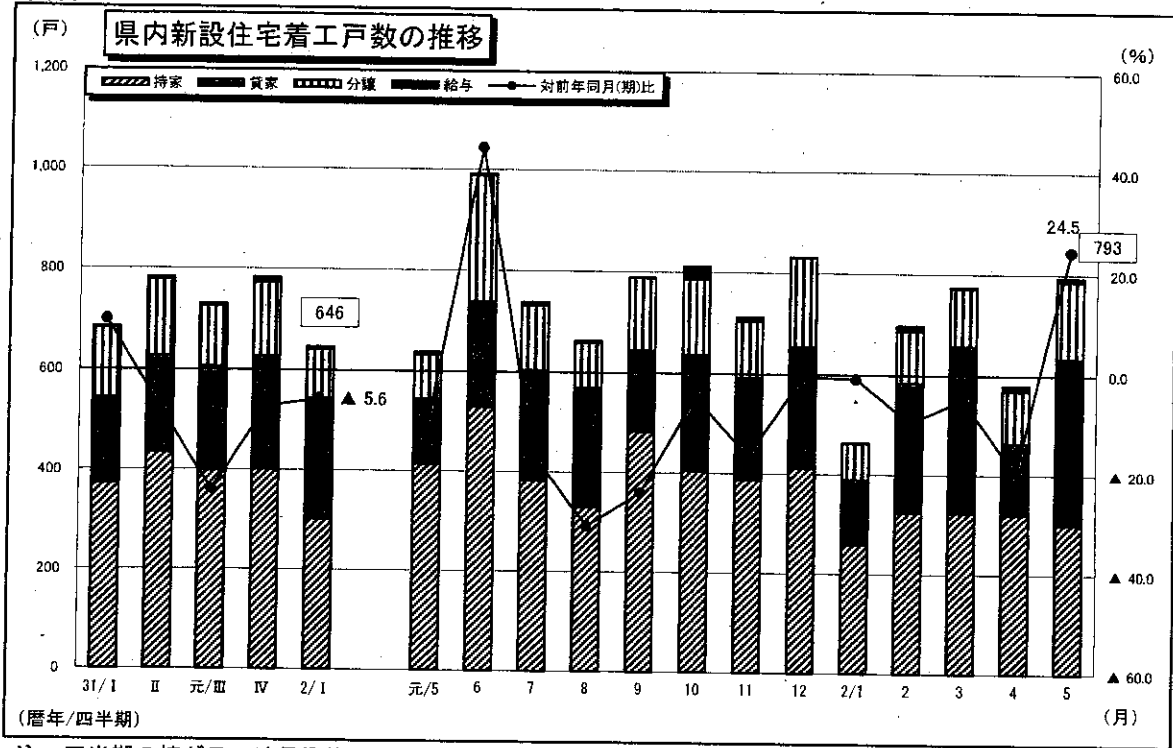
資料 19



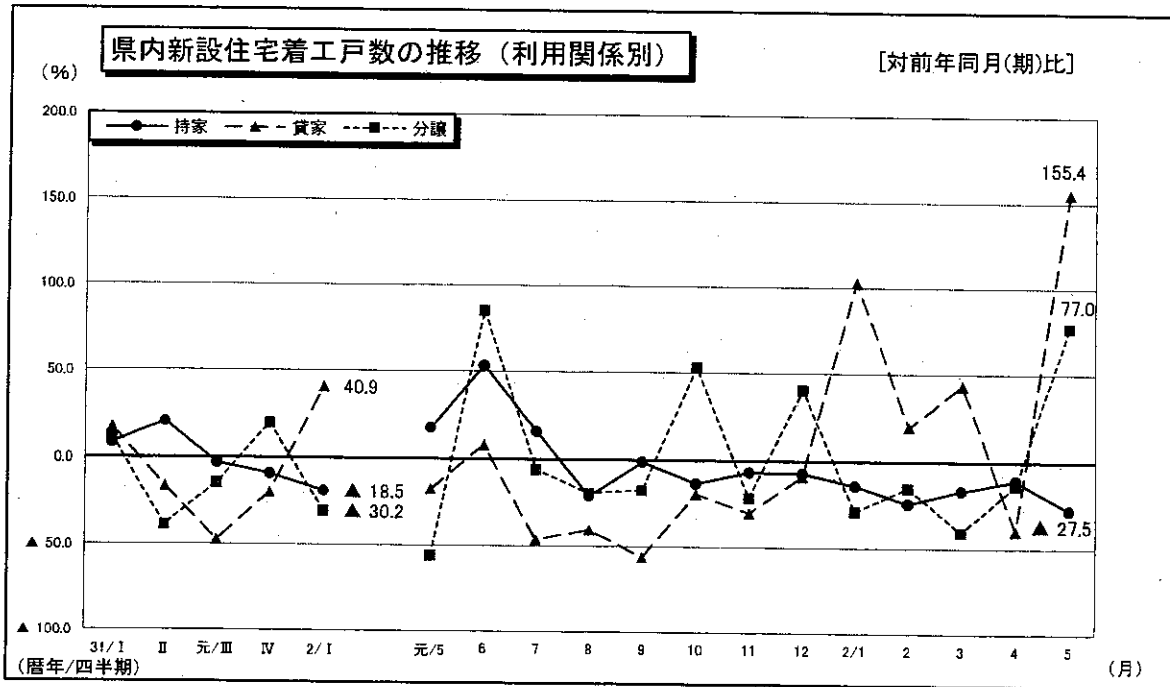
(資料：法人企業景気予測調査【2年4-6月期調査】)

7. 住宅建設

資料 2 0

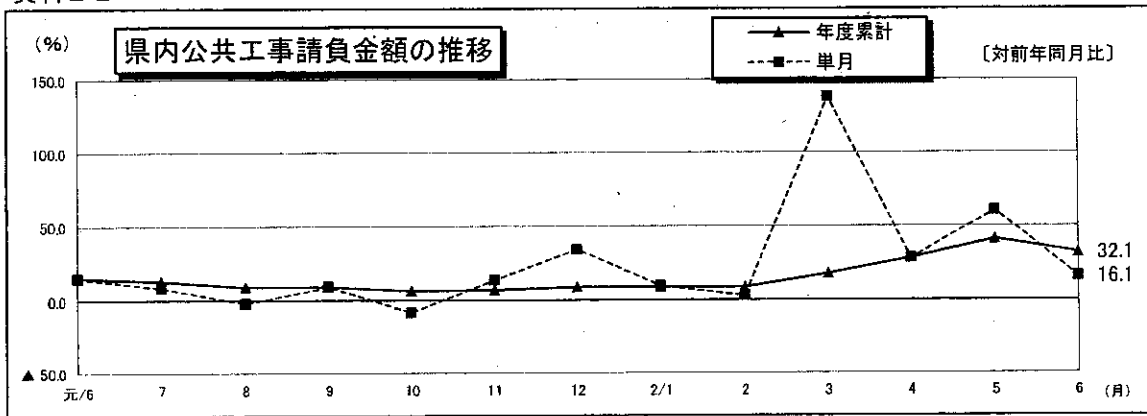


資料 2 1



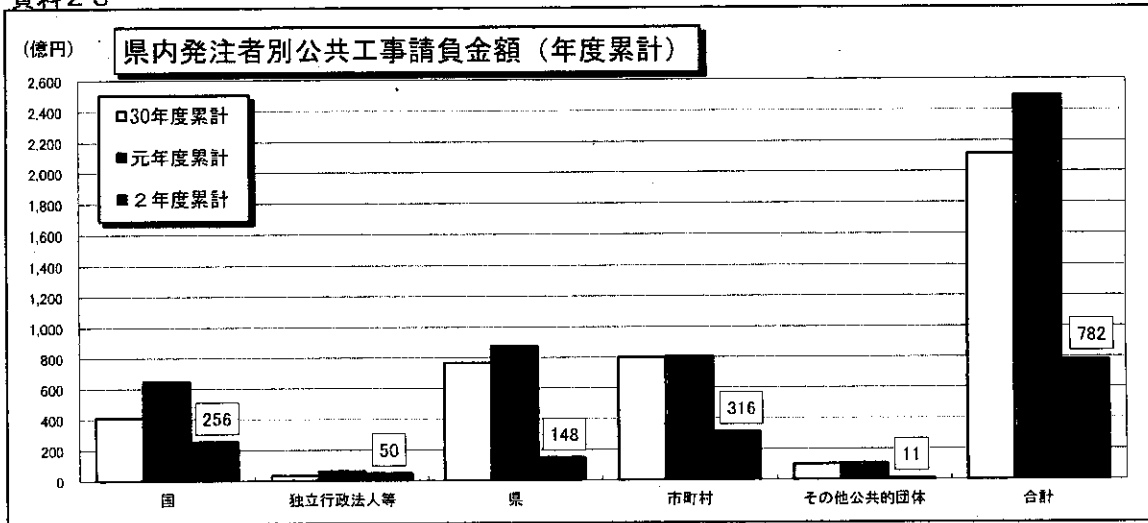
8. 公共事業

資料 2 2



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

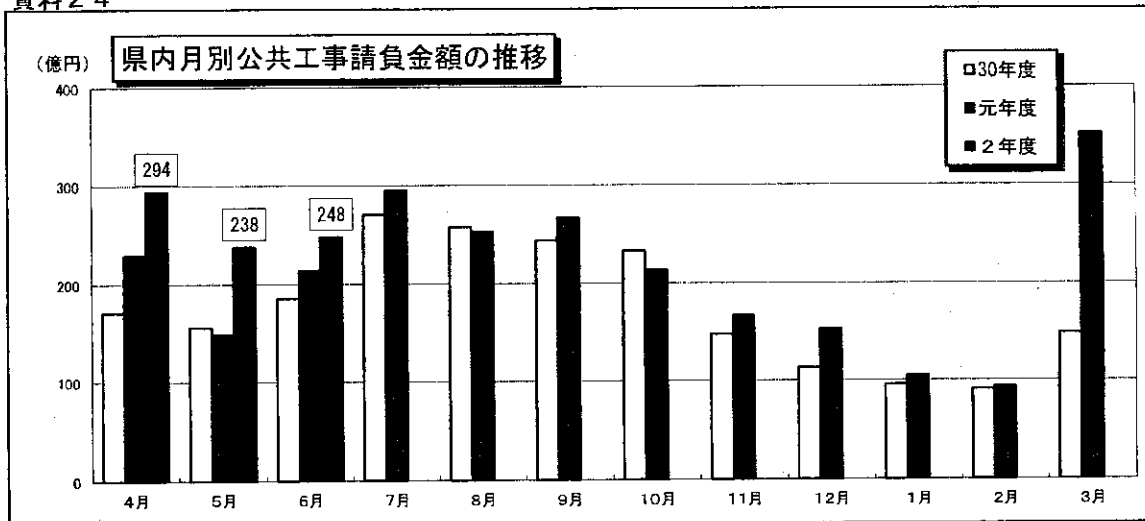
資料 2 3



注：30年度及び元年度は年度累計。
2年度は4～6月累計。

(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

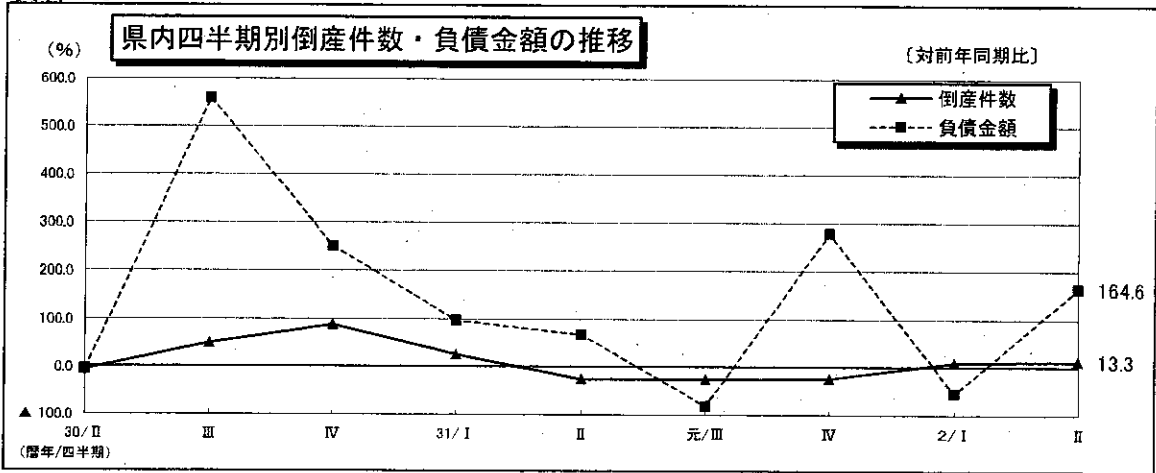
資料 2 4



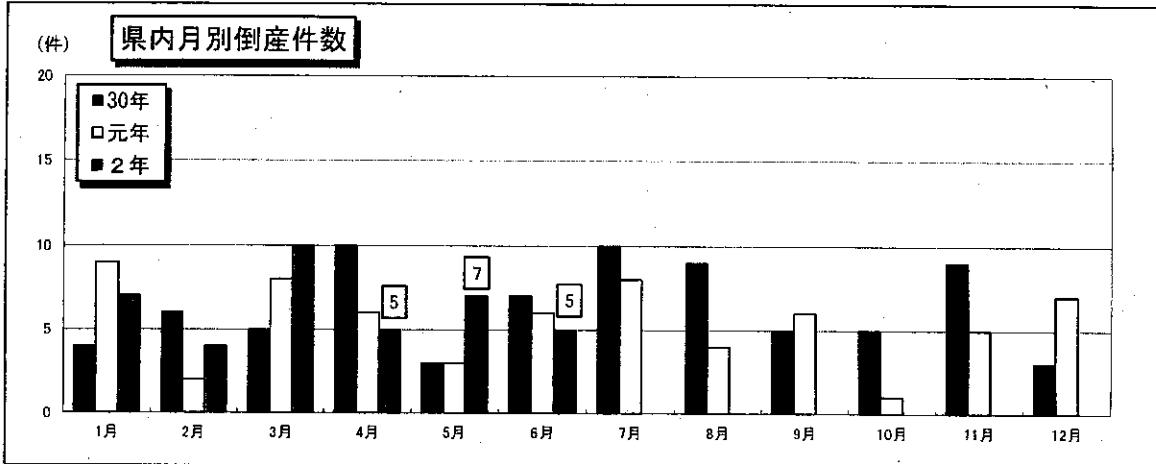
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

9. 倒産

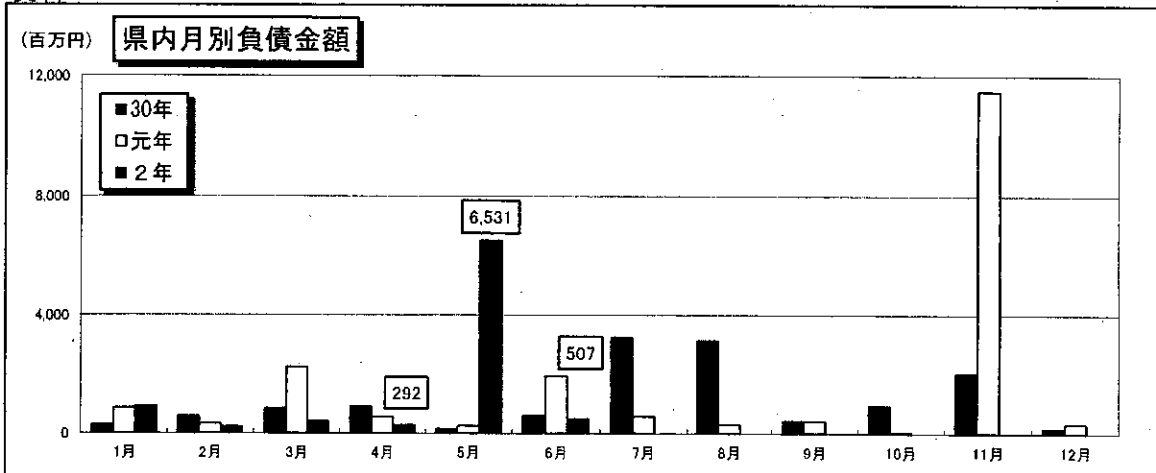
資料 2 5



資料 2 6

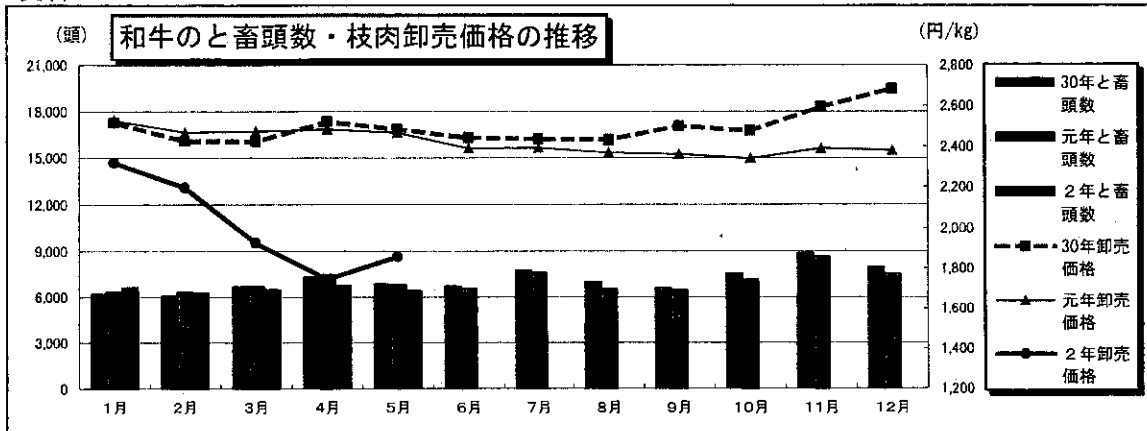


資料 2 7



10. 農業（畜産物）

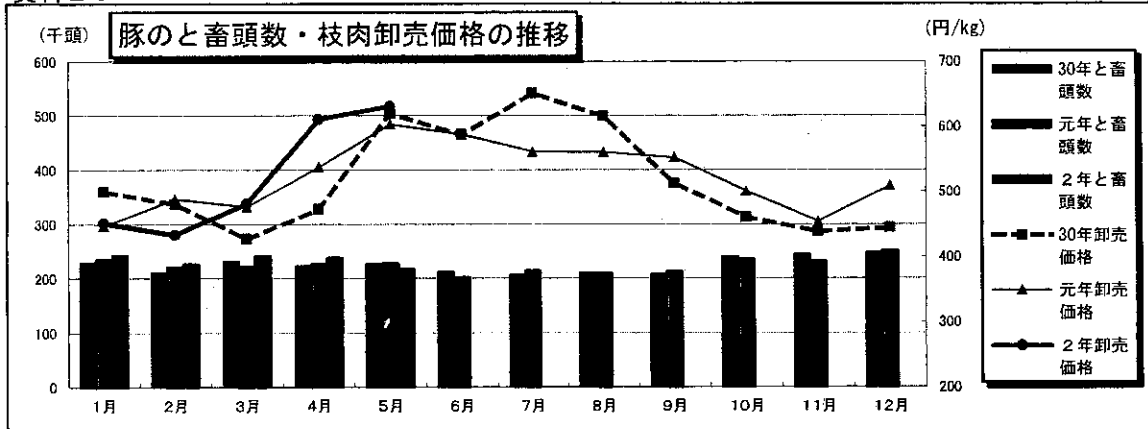
資料28



注：価格は大阪去勢和牛A4の加重平均価格。
元年及び2年のと畜頭数は速報値。

(資料：農林水産省)

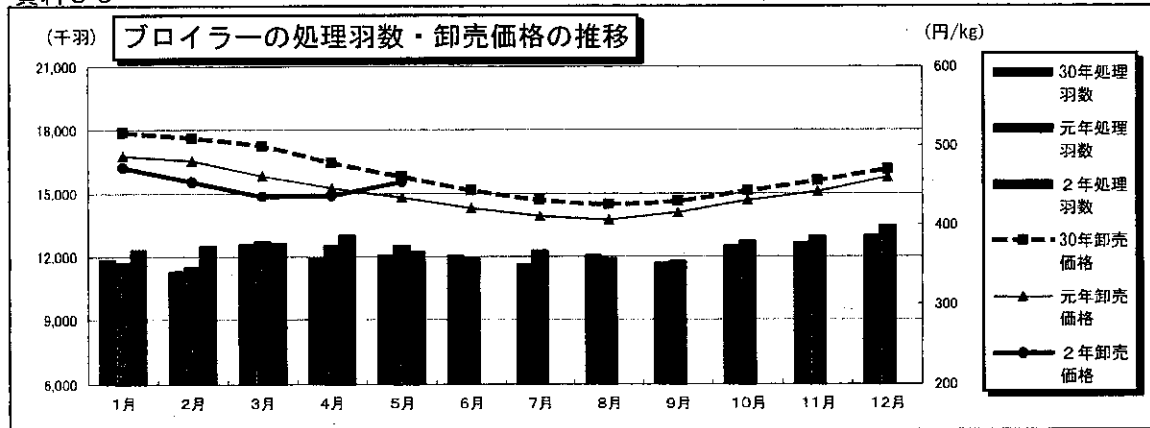
資料29



注：価格は東京上の加重平均価格。
元年及び2年のと畜頭数は速報値。

(資料：農林水産省)

資料30

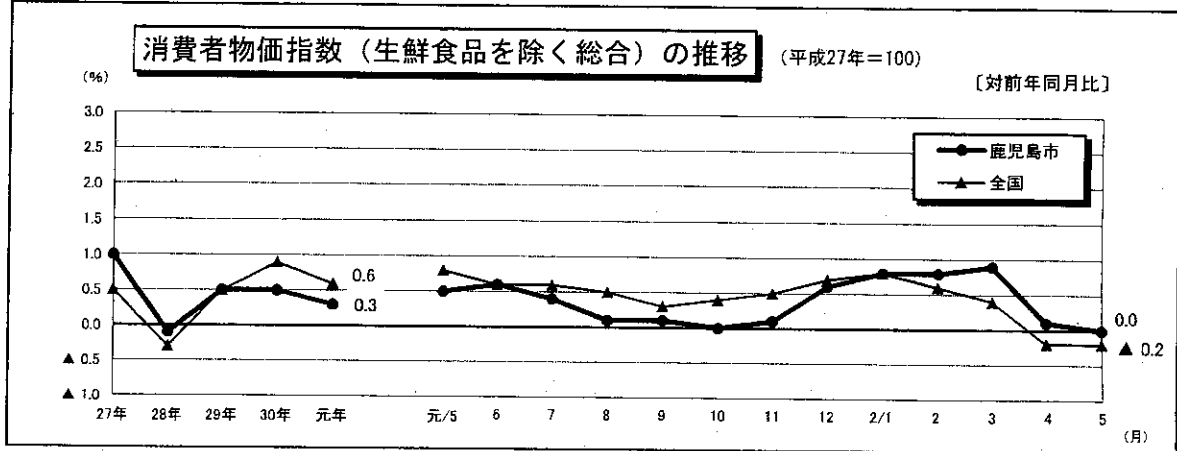


注：価格は東京中値の「もも」と「むね」の加重平均価格。

(資料：鹿児島県、独立行政法人農畜産業振興機構)

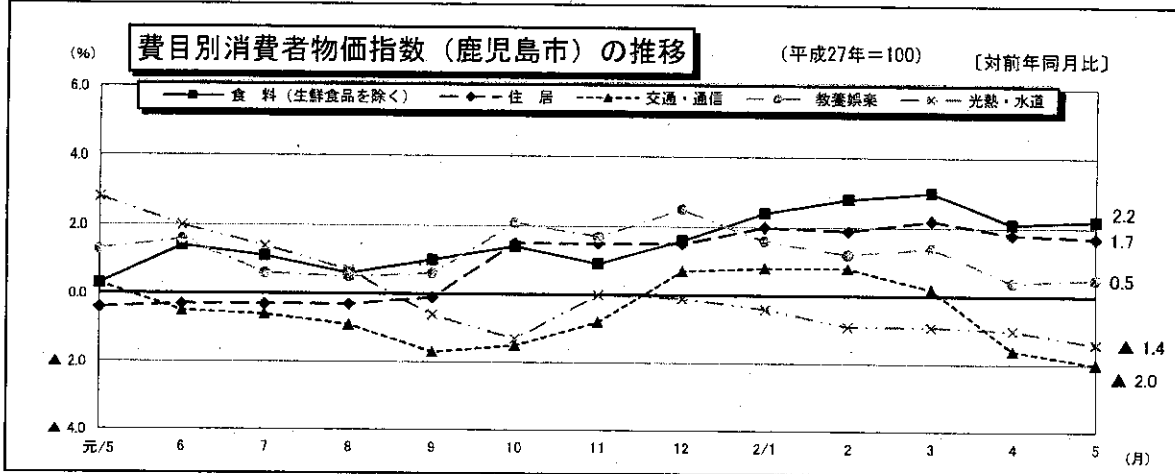
1.1. 消費者物価

資料3 1



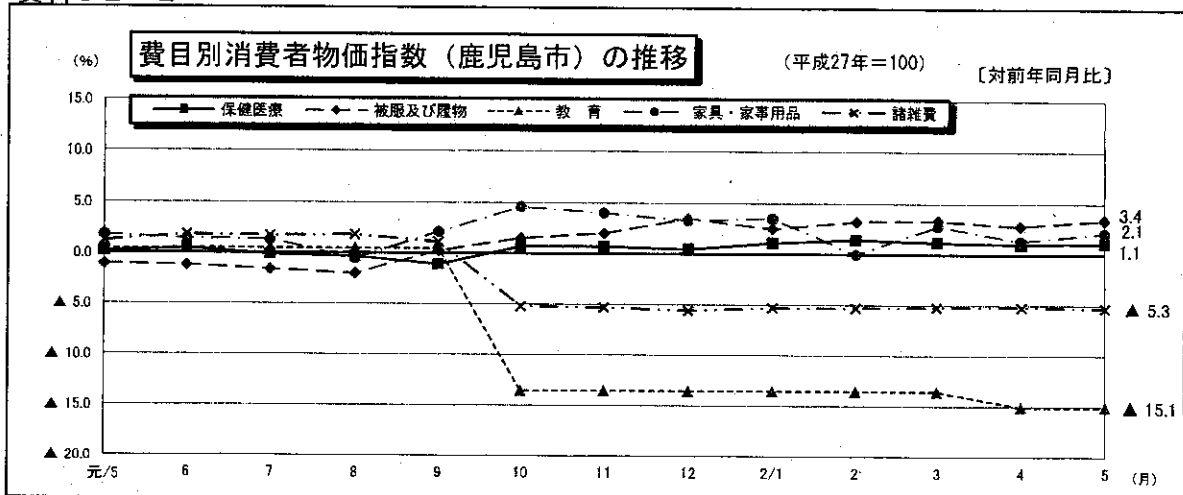
(資料：総務省)

資料3 2-1



(資料：総務省)

資料3 2-2



(資料：総務省)

【連絡問い合わせ先】

九州財務局鹿児島財務事務所財務課
099-226-6155
ホームページアドレス
<http://kyusyu.mof.go.jp/kagoshima/>